

6.8 2次不等式の解法

実数を表す定数 a, b, c (但し $a \neq 0$) に対して, 実数を表す変数 x に関する 2 次不等式

$$ax^2 + bx + c < 0, \quad ax^2 + bx + c \leq 0, \quad ax^2 + bx + c > 0, \quad ax^2 + bx + c \geq 0$$

を解くためには, 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の判別式 $b^2 - 4ac$ について,

$b^2 - 4ac \geq 0$ のときは 左辺 $ax^2 + bx + c$ を因数分解して,

$b^2 - 4ac < 0$ のときは 左辺 $ax^2 + bx + c$ を平方完成する.

最初に 2 次不等式の左辺の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ について $b^2 - 4ac > 0$ のときを扱う. このとき, 定理 4.5 により, 2 次式 $ax^2 + bx + c$ は係数が実数の範囲で 1 次式の積に因数分解できる.

[定理 4.5] 実数 a, b, c について, $a \neq 0$ のとき, x の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ が係数が実数の範囲で 1 次式の積の形に因数分解できることと $b^2 - 4ac \geq 0$ であることは同値である.

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 5x + 4 < 0, \quad x^2 - 5x + 4 \leq 0, \quad x^2 - 5x + 4 > 0, \quad x^2 - 5x + 4 \geq 0.$$

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 5x + 4 < 0, \quad x^2 - 5x + 4 \leq 0, \quad x^2 - 5x + 4 > 0, \quad x^2 - 5x + 4 \geq 0.$$

左辺の 2 次式を因数分解すると $x^2 - 5x + 4 = (x - 1)(x - 4)$. x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x - 1)(x - 4) < 0, \quad (x - 1)(x - 4) \leq 0, \quad (x - 1)(x - 4) > 0, \quad (x - 1)(x - 4) \geq 0.$$

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 5x + 4 < 0, \quad x^2 - 5x + 4 \leq 0, \quad x^2 - 5x + 4 > 0, \quad x^2 - 5x + 4 \geq 0.$$

左辺の 2 次式を因数分解すると $x^2 - 5x + 4 = (x - 1)(x - 4)$. x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x - 1)(x - 4) < 0, \quad (x - 1)(x - 4) \leq 0, \quad (x - 1)(x - 4) > 0, \quad (x - 1)(x - 4) \geq 0.$$

左辺の 2 次式の因数 $x - 1$, $x - 4$ の値の符号は次のようになる：

$$\begin{aligned} x < 1 \text{ のとき } x - 1 < 0, \quad x = 1 \text{ のとき } x - 1 = 0, \quad x > 1 \text{ のとき } x - 1 > 0 ; \\ x < 4 \text{ のとき } x - 4 < 0, \quad x = 4 \text{ のとき } x - 4 = 0, \quad x > 4 \text{ のとき } x - 4 > 0 . \end{aligned}$$

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 5x + 4 < 0, \quad x^2 - 5x + 4 \leq 0, \quad x^2 - 5x + 4 > 0, \quad x^2 - 5x + 4 \geq 0.$$

左辺の 2 次式を因数分解すると $x^2 - 5x + 4 = (x - 1)(x - 4)$. x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x - 1)(x - 4) < 0, \quad (x - 1)(x - 4) \leq 0, \quad (x - 1)(x - 4) > 0, \quad (x - 1)(x - 4) \geq 0.$$

左辺の 2 次式の因数 $x - 1$, $x - 4$ の値の符号は次のようになる：

$x < 1$ のとき $x - 1 < 0$, $x = 1$ のとき $x - 1 = 0$, $x > 1$ のとき $x - 1 > 0$;

$x < 4$ のとき $x - 4 < 0$, $x = 4$ のとき $x - 4 = 0$, $x > 4$ のとき $x - 4 > 0$.

不等式の左辺 $(x - 1)(x - 4)$ の値の符号は次のようになる：

$x < 1$ のとき, $x - 1 < 0$ かつ $x - 4 < 0$ なので $(x - 1)(x - 4) > 0$;

$x = 1$ のとき, $x - 1 = 0$ なので $(x - 1)(x - 4) = 0$;

$1 < x < 4$ のとき, $x - 1 > 0$ かつ $x - 4 < 0$ なので $(x - 1)(x - 4) < 0$;

$x = 4$ のとき, $x - 4 = 0$ なので $(x - 1)(x - 4) = 0$;

$x > 4$ のとき, $x - 1 > 0$ かつ $x - 4 > 0$ なので $(x - 1)(x - 4) > 0$.

$x < 1$ のとき, $x - 1 < 0$ かつ $x - 4 < 0$ なので $(x - 1)(x - 4) > 0$;

$x = 1$ のとき, $x - 1 = 0$ なので $(x - 1)(x - 4) = 0$;

$1 < x < 4$ のとき, $x - 1 > 0$ かつ $x - 4 < 0$ なので $(x - 1)(x - 4) < 0$;

$x = 4$ のとき, $x - 4 = 0$ なので $(x - 1)(x - 4) = 0$;

$x > 4$ のとき, $x - 1 > 0$ かつ $x - 4 > 0$ なので $(x - 1)(x - 4) > 0$.

$x < 1$ のとき, $x - 1 < 0$ かつ $x - 4 < 0$ なので $(x - 1)(x - 4) > 0$;

$x = 1$ のとき, $x - 1 = 0$ なので $(x - 1)(x - 4) = 0$;

$1 < x < 4$ のとき, $x - 1 > 0$ かつ $x - 4 < 0$ なので $(x - 1)(x - 4) < 0$;

$x = 4$ のとき, $x - 4 = 0$ なので $(x - 1)(x - 4) = 0$;

$x > 4$ のとき, $x - 1 > 0$ かつ $x - 4 > 0$ なので $(x - 1)(x - 4) > 0$.

これらのことを次のような表で表す.

x の値	$x < 1$	$x = 1$	$1 < x < 4$	$x = 4$	$4 < x$
$x - 1$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - 4$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x - 1)(x - 4)$ の値の符号	+	0	-	0	+

x の値	$x < 1$	$x = 1$	$1 < x < 4$	$x = 4$	$4 < x$
$x - 1$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - 4$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x - 1)(x - 4)$ の値の符号	+	0	-	0	+

x の値	$x < 1$	$x = 1$	$1 < x < 4$	$x = 4$	$4 < x$
$x - 1$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - 4$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x - 1)(x - 4)$ の値の符号	+	0	-	0	+

この表から次のことが分かる：

$$(x - 1)(x - 4) < 0 \Leftrightarrow (x - 1)(x - 4) \text{ の符号は } - \Leftrightarrow 1 < x < 4 ;$$

$$(x - 1)(x - 4) \leq 0 \Leftrightarrow (x - 1)(x - 4) \text{ の符号は } - \text{ か } 0 \Leftrightarrow 1 \leq x \leq 4 ;$$

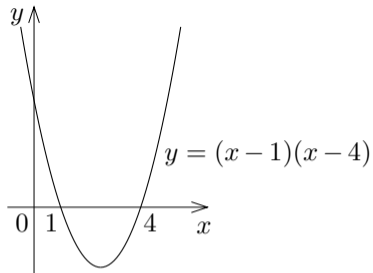
$$(x - 1)(x - 4) > 0 \Leftrightarrow (x - 1)(x - 4) \text{ の符号は } + \Leftrightarrow x < 1 \text{ または } x > 4 ;$$

$$(x - 1)(x - 4) \geq 0 \Leftrightarrow (x - 1)(x - 4) \text{ の符号は } + \text{ か } 0 \Leftrightarrow x \leq 1 \text{ または } x \geq 4 .$$

これらのことは x の関数 $y = (x - 1)(x - 4)$ のグラフを考えても分かる.

xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

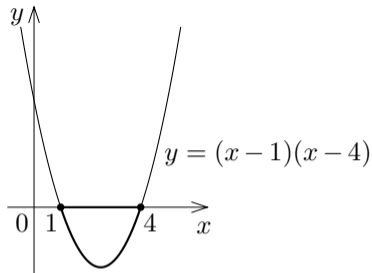


xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) \leq 0 \iff y \leq 0 .$$



xy 座標平面において、関数

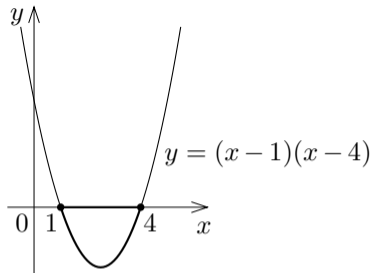
$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) \leq 0 \iff y \leq 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフにおいて、 x 座標について $(x-1)(x-4) \leq 0$ となる部分は y 座標が 0 以下の部分である；この部分の x 座標の範囲は $1 \leq x \leq 4$ なので、

$$y = (x-1)(x-4) \leq 0 \iff 1 \leq x \leq 4 .$$



xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

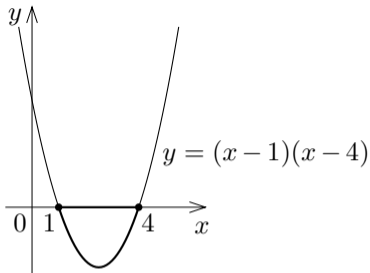
$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) \leq 0 \iff y \leq 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフにおいて、 x 座標について $(x-1)(x-4) \leq 0$ となる部分は y 座標が 0 以下の部分である；この部分の x 座標の範囲は $1 \leq x \leq 4$ なので、

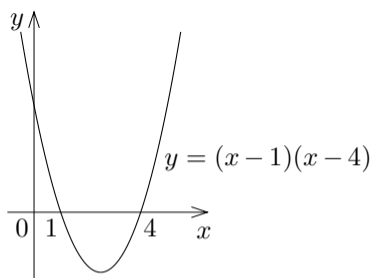
$$y = (x-1)(x-4) \leq 0 \iff 1 \leq x \leq 4 .$$

不等式 $(x-1)(x-4) \leq 0$ を解くと $1 \leq x \leq 4$.



xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

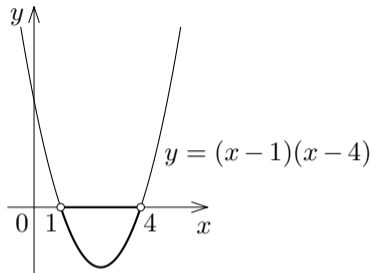


xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) < 0 \iff y < 0 .$$



xy 座標平面において、関数

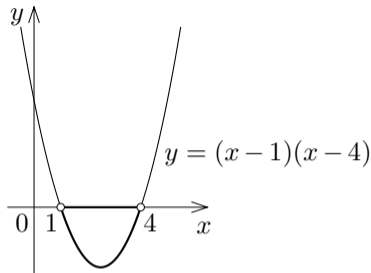
$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) < 0 \iff y < 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフにおいて、 x 座標について $(x-1)(x-4) < 0$ となる部分は y 座標が 0 より小さい部分である；この部分の x 座標の範囲は $1 < x < 4$ なので、

$$y = (x-1)(x-4) < 0 \iff 1 < x < 4 .$$



xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

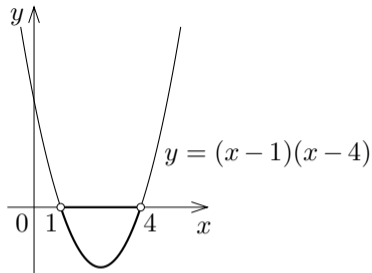
$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) < 0 \iff y < 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフにおいて、 x 座標について $(x-1)(x-4) < 0$ となる部分は y 座標が 0 より小さい部分である；この部分の x 座標の範囲は $1 < x < 4$ なので、

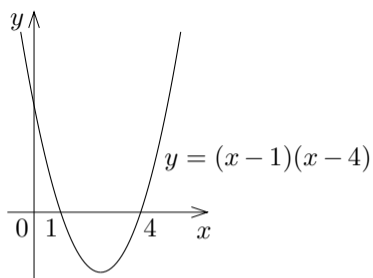
$$y = (x-1)(x-4) < 0 \iff 1 < x < 4 .$$

不等式 $(x-1)(x-4) < 0$ を解くと $1 < x < 4$.



xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

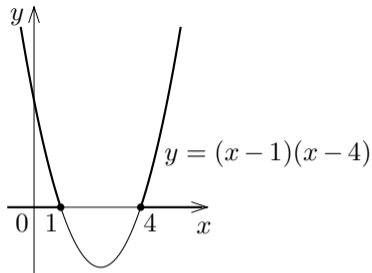


xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) \geq 0 \iff y \geq 0 .$$



xy 座標平面において、関数

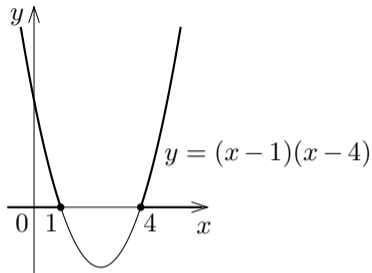
$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) \geq 0 \iff y \geq 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフにおいて、 x 座標について $(x-1)(x-4) \geq 0$ となる部分は y 座標が 0 以上の部分である；この部分の x 座標の範囲は $x \leq 1$ と $x \geq 4$ なので、

$$y = (x-1)(x-4) \geq 0 \iff x \leq 1 \text{ または } x \geq 4 .$$



xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

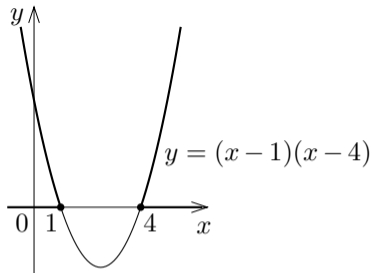
$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) \geq 0 \iff y \geq 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフにおいて、 x 座標について $(x-1)(x-4) \geq 0$ となる部分は y 座標が 0 以上の部分である；この部分の x 座標の範囲は $x \leq 1$ と $x \geq 4$ なので、

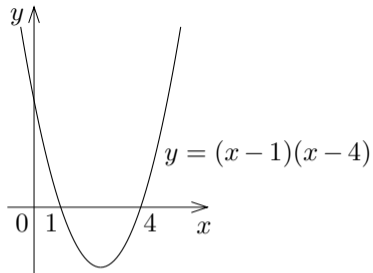
$$y = (x-1)(x-4) \geq 0 \iff x \leq 1 \text{ または } x \geq 4 .$$

不等式 $(x-1)(x-4) \geq 0$ を解くと、 $x \leq 1$ または $x \geq 4$.



xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

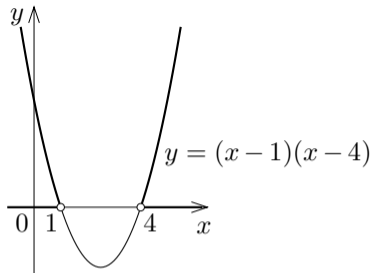


xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) > 0 \iff y > 0 .$$



xy 座標平面において、関数

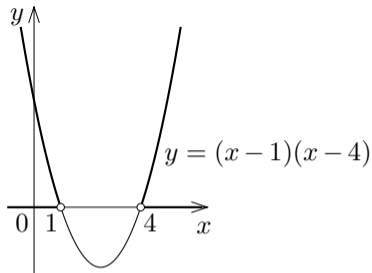
$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) > 0 \iff y > 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフにおいて、 x 座標について $(x-1)(x-4) > 0$ となる部分は y 座標が 0 より大きい部分である；この部分の x 座標の範囲は $x < 1$ と $x > 4$ なので、

$$y = (x-1)(x-4) > 0 \iff x < 1 \text{ または } x > 4 .$$



xy 座標平面において、関数

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフと x 軸との共有点は $(1,0)$ と $(4,0)$ とである。また、 $y = (x-1)(x-4)$ のグラフは下に凸の放物線である。

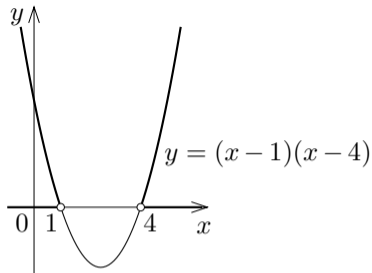
$y = (x-1)(x-4)$ について、

$$(x-1)(x-4) > 0 \iff y > 0 .$$

$y = (x-1)(x-4)$ のグラフにおいて、 x 座標について $(x-1)(x-4) > 0$ となる部分は y 座標が 0 より大きい部分である；この部分の x 座標の範囲は $x < 1$ と $x > 4$ なので、

$$y = (x-1)(x-4) > 0 \iff x < 1 \text{ または } x > 4 .$$

不等式 $(x-1)(x-4) > 0$ を解くと、 $x < 1$ または $x > 4$.



例 変数 x に関する不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ を解く.

例 変数 x に関する不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ を解く. 不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ より

$$-2x^2 - x + 6 \leq 0 .$$

例 変数 x に関する不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ を解く. 不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ より $-2x^2 - x + 6 \leq 0$. x^2 の係数を正にする方が考え易いので, 両辺に -1 を掛けて

$$2x^2 + x - 6 \geq 0 .$$

2次方程式 $2x^2 + x - 6 = 0$ の判別式の値が正なので, 2次式を因数分解するタイプである.

例 変数 x に関する不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ を解く. 不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ より $-2x^2 - x + 6 \leq 0$. x^2 の係数を正にする方が考え易いので, 両辺に -1 を掛けて

$$2x^2 + x - 6 \geq 0 .$$

左辺を因数分解すると $2x^2 + x - 6 = (x + 2)(2x - 3)$ なので

$$(x + 2)(2x - 3) \geq 0 .$$

例 変数 x に関する不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ を解く. 不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ より $-2x^2 - x + 6 \leq 0$. x^2 の係数を正にする方が考え易いので, 両辺に -1 を掛けて

$$2x^2 + x - 6 \geq 0 .$$

左辺を因数分解すると $2x^2 + x - 6 = (x + 2)(2x - 3)$ なので

$$(x + 2)(2x - 3) \geq 0 .$$

符号を調べるためには x の係数が 1 の方が分かりやすいので, 左辺の因数 $2x - 3$ と右辺とを 2 で割る:

$$(x + 2) \left(\frac{2x - 3}{2} \right) \geq \frac{0}{2} ,$$

$$(x + 2) \left(x - \frac{3}{2} \right) \geq 0 .$$

例 変数 x に関する不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ を解く. 不等式 $6 - 2x^2 \leq x$ より $-2x^2 - x + 6 \leq 0$. x^2 の係数を正にする方が考え易いので, 両辺に -1 を掛けて

$$2x^2 + x - 6 \geq 0 .$$

左辺を因数分解すると $2x^2 + x - 6 = (x + 2)(2x - 3)$ なので

$$(x + 2)(2x - 3) \geq 0 .$$

符号を調べるためには x の係数が 1 の方が分かりやすいので, 左辺の因数 $2x - 3$ と右辺とを 2 で割る:

$$(x + 2) \left(\frac{2x - 3}{2} \right) \geq \frac{0}{2} ,$$

$$(x + 2) \left(x - \frac{3}{2} \right) \geq 0 .$$

x の値について場合分けして, 左辺の 2 次式の値の符号を調べる.

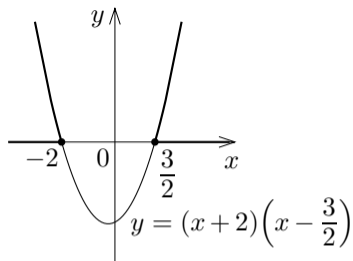
x の値	$x < -2$	$x = -2$	$-2 < x < \frac{3}{2}$	$x = \frac{3}{2}$	$\frac{3}{2} < x$
$x + 2$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$ の値の符号	+	0	-	0	+

x の値	$x < -2$	$x = -2$	$-2 < x < \frac{3}{2}$	$x = \frac{3}{2}$	$\frac{3}{2} < x$
$x + 2$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$ の値の符号	-	-	-	0	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$ の値の符号	+	0	-	0	+

この表を次のように略す.

x	...	-2	...	$\frac{3}{2}$...
$x + 2$	-	0	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$	-	-	-	0	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$	+	0	-	0	+

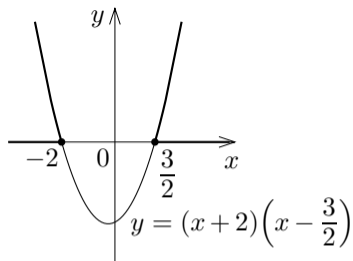
x	\dots	-2	\dots	$\frac{3}{2}$	\dots
$x + 2$	$-$	0	$+$	$+$	$+$
$x - \frac{3}{2}$	$-$	$-$	$-$	0	$+$
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$	$+$	0	$-$	0	$+$



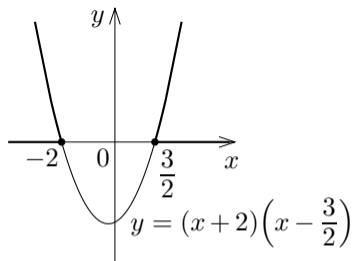
x	...	-2	...	$\frac{3}{2}$...
$x + 2$	-	0	+	+	+
$x - \frac{3}{2}$	-	-	-	0	+
$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right)$	+	0	-	0	+

この表より,

$$(x + 2)\left(x - \frac{3}{2}\right) \geq 0 \iff x \leq -2 \text{ または } x \geq \frac{3}{2} .$$



x	...	-2	...	$\frac{3}{2}$...
$x+2$	-	0	+	+	+
$x-\frac{3}{2}$	-	-	-	0	+
$(x+2)\left(x-\frac{3}{2}\right)$	+	0	-	0	+



この表より,

$$(x+2)\left(x-\frac{3}{2}\right) \geq 0 \iff x \leq -2 \text{ または } x \geq \frac{3}{2} .$$

故に、与えられた不等式を解くと、 $x \leq -2$ または $x \geq \frac{3}{2}$.

終

問6.8.1 変数 x に関する以不等式 $3x^2 + 7x > 6$ を解け.

不等式 $3x^2 + 7x > 6$ より,

$$3x^2 + 7x - 6 > 0,$$

$$(x - 1)(3x + 6) > 0,$$

$$(x - 1)(x + 2) > 0,$$

よって, 与えられた不等式を解くと,

x
x					
$(x - 1)(x + 2)$					

問6.8.1 変数 x に関する以不等式 $3x^2 + 7x > 6$ を解け.

不等式 $3x^2 + 7x > 6$ より,

$$3x^2 + 7x - 6 > 0 ,$$

$$(x + 3)(3x - 2) > 0 ,$$

$$(x + 3)\left(x - \frac{2}{3}\right) > 0 ,$$

よって, 与えられた不等式を解くと,
 $x < -3$ または $x > \frac{2}{3}$.

x	...	-3	...	$\frac{2}{3}$...
$x + 3$	-	0	+	+	+
$x - \frac{2}{3}$	-	0	-	0	+
$(x + 3)\left(x - \frac{2}{3}\right)$	+	0	-	0	+

終

問6.8.2 変数 y に関する以不等式 $y + 12 \geq 6y^2$ を解け.

不等式 $y + 12 \geq 6y^2$ より,

$$\leq 0,$$

$$(\quad)(\quad) \leq 0,$$

$$(y \quad)(y \quad) \leq 0,$$

よって、与えられた不等式を解くと、

y
y					
y					
$(y \quad)(y \quad)$					

問6.8.2 変数 y に関する以不等式 $y + 12 \geq 6y^2$ を解け.

不等式 $y + 12 \geq 6y^2$ より,

$$6y^2 - y - 12 \leq 0 ,$$

$$(3y + 4)(2y - 3) \leq 0 ,$$

$$\left(y + \frac{4}{3}\right)\left(y - \frac{3}{2}\right) \leq 0 ,$$

よって, 与えられた不等式を解くと, $-\frac{4}{3} \leq y \leq \frac{3}{2}$.

y	...	$-\frac{4}{3}$...	$\frac{3}{2}$...
$y + \frac{4}{3}$	-	0	+	+	+
$y - \frac{3}{2}$	-	-	-	0	+
$\left(y + \frac{4}{3}\right)\left(y - \frac{3}{2}\right)$	-	0	-	0	+

終

4.5 節で述べた次の定理を用いることがある。

[2 次式の因数分解の公式] 定数 a, b, c は複素数を表し $a \neq 0$ とする。複素数を表す変数 x に関する 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の 2 個の解を α と β とおくと、 x の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ は次のように因数分解できる：

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta) .$$

4.5 節で述べた次の定理を用いることがある。

[2 次式の因数分解の公式] 定数 a, b, c は複素数を表し $a \neq 0$ とする。複素数を表す変数 x に関する 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の 2 個の解を α と β とおくと、 x の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ は次のように因数分解できる：

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta) .$$

例 変数 k に関する不等式 $k(6 - k) > 7$ を解く。

4.5 節で述べた次の定理を用いることがある。

[2 次式の因数分解の公式] 定数 a, b, c は複素数を表し $a \neq 0$ とする。複素数を表す変数 x に関する 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の 2 個の解を α と β とおくと、 x の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ は次のように因数分解できる：

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta) .$$

例 変数 k に関する不等式 $k(6 - k) > 7$ を解く。不等式 $k(6 - k) > 7$ より、 $6k - k^2 > 7$ なので

$$k^2 - 6k + 7 < 0 .$$

2 次方程式 $k^2 - 6k + 7 = 0$ の判別式の値が正なので、2 次式を因数分解するタイプである。

4.5 節で述べた次の定理を用いることがある。

[2 次式の因数分解の公式] 定数 a, b, c は複素数を表し $a \neq 0$ とする。複素数を表す変数 x に関する 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の 2 個の解を α と β とおくと、 x の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ は次のように因数分解できる：

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta) .$$

例 変数 k に関する不等式 $k(6 - k) > 7$ を解く。不等式 $k(6 - k) > 7$ より、 $6k - k^2 > 7$ なので

$$k^2 - 6k + 7 < 0 .$$

k に関する 2 次方程式 $k^2 - 6k + 7 = 0$ の解は $3 \pm \sqrt{2}$ なので、2 次式の因数分解の公式により

$$k^2 - 6k + 7 = (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) .$$

4.5 節で述べた次の定理を用いることがある。

[2 次式の因数分解の公式] 定数 a, b, c は複素数を表し $a \neq 0$ とする。複素数を表す変数 x に関する 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の 2 個の解を α と β とおくと、 x の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ は次のように因数分解できる：

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta) .$$

例 変数 k に関する不等式 $k(6 - k) > 7$ を解く。不等式 $k(6 - k) > 7$ より、 $6k - k^2 > 7$ なので

$$k^2 - 6k + 7 < 0 .$$

k に関する 2 次方程式 $k^2 - 6k + 7 = 0$ の解は $3 \pm \sqrt{2}$ なので、2 次式の因数分解の公式により

$$k^2 - 6k + 7 = (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) .$$

この k の 2 次式の値の符号を調べる。

$$k^2 - 6 + 7 = (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) .$$

この k の 2 次式の値の符号を調べる.

k	...	$3 - \sqrt{2}$...	$3 + \sqrt{2}$...
$k - 3 + \sqrt{2}$	-	0	+	+	+
$k - 3 - \sqrt{2}$	-	-	-	0	+
$(k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2})$	+	0	-	0	+

$$k^2 - 6k + 7 = (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) .$$

この k の 2 次式の値の符号を調べる.

k	...	$3 - \sqrt{2}$...	$3 + \sqrt{2}$...
$k - 3 + \sqrt{2}$	-	0	+	+	+
$k - 3 - \sqrt{2}$	-	-	-	0	+
$(k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2})$	+	0	-	0	+

この表より

$$\begin{aligned} k^2 - 6k + 7 < 0 &\iff (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) < 0 \\ &\iff 3 - \sqrt{2} < k < 3 + \sqrt{2} . \end{aligned}$$

$$k^2 - 6k + 7 = (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) .$$

この k の 2 次式の値の符号を調べる.

k	...	$3 - \sqrt{2}$...	$3 + \sqrt{2}$...
$k - 3 + \sqrt{2}$	-	0	+	+	+
$k - 3 - \sqrt{2}$	-	-	-	0	+
$(k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2})$	+	0	-	0	+

この表より

$$\begin{aligned} k^2 - 6k + 7 < 0 &\iff (k - 3 + \sqrt{2})(k - 3 - \sqrt{2}) < 0 \\ &\iff 3 - \sqrt{2} < k < 3 + \sqrt{2} . \end{aligned}$$

故に、与えられた不等式を解くと $3 - \sqrt{2} < k < 3 + \sqrt{2}$.

終

問6.8.3 変数 a に関する不等式 $a^2 + 4 \geq 6a$ を解け.

不等式 $a^2 + 4 \geq 6a$ より

$$\geq 0 .$$

方程式 $\quad = 0$ の解は \quad なので,

$$(a \quad)(a \quad) \geq 0 .$$

a
a					
a					
$(a \quad)(a \quad)$					

与えられた不等式を解くと,

問6.8.3 変数 a に関する不等式 $a^2 + 4 \geq 6a$ を解け.

不等式 $a^2 + 4 \geq 6a$ より

$$a^2 - 6a + 4 \geq 0 .$$

方程式 $a^2 - 6a + 4 = 0$ の解は $3 \pm \sqrt{5}$ なので,

$$(a - 3 + \sqrt{5})(a - 3 - \sqrt{5}) \geq 0 .$$

a
a					
a					
$(a \quad \quad \quad)(a \quad \quad \quad)$					

与えられた不等式を解くと,

問6.8.3 変数 a に関する不等式 $a^2 + 4 \geq 6a$ を解け.

不等式 $a^2 + 4 \geq 6a$ より

$$a^2 - 6a + 4 \geq 0 .$$

方程式 $a^2 - 6a + 4 = 0$ の解は $3 \pm \sqrt{5}$ なので,

$$(a - 3 + \sqrt{5})(a - 3 - \sqrt{5}) \geq 0 .$$

k	...	$3 - \sqrt{5}$...	$3 + \sqrt{5}$...
$a - 3 + \sqrt{5}$	-	0	+	+	+
$a - 3 - \sqrt{5}$	-	-	-	0	+
$(a - 3 + \sqrt{5})(a - 3 - \sqrt{5})$	+	0	-	0	+

与えられた不等式を解くと, $a \leq 3 - \sqrt{5}$ または $a \geq 3 + \sqrt{5}$.

終

問6.8.4 変数 t に関する不等式 $2t(t+2) < 1$ を解け.

不等式 $2t(t+2) < 1$ より $t^2 - 2t - 1 < 0$, $t^2 - 2t - 1 < 0$, 方程式

$t^2 - 2t - 1 = 0$ の解は $t = 1 \pm \sqrt{2}$ なので,

$$(t - (1 - \sqrt{2})) (t - (1 + \sqrt{2})) < 0 .$$

t
t					
t					
$(t - (1 - \sqrt{2})) (t - (1 + \sqrt{2}))$					

与えられた不等式を解くと,

問6.8.4 変数 t に関する不等式 $2t(t+2) < 1$ を解け.

不等式 $2t(t+2) < 1$ より $2t^2 + 4t - 1 < 0$, $t^2 + 2t - \frac{1}{2} < 0$, 方程式 $t^2 + 2t - \frac{1}{2} = 0$ の解は $-1 \pm \frac{\sqrt{6}}{2}$ なので,

$$\left(t + 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}\right) \left(t + 1 - \frac{\sqrt{6}}{2}\right) < 0 .$$

t
t					
t					
$\left(t \quad \quad \right) \left(t \quad \quad \right)$					

与えられた不等式を解くと,

問6.8.4 変数 t に関する不等式 $2t(t+2) < 1$ を解け.

不等式 $2t(t+2) < 1$ より $2t^2 + 4t - 1 < 0$, $t^2 + 2t - \frac{1}{2} < 0$, 方程式

$t^2 + 2t - \frac{1}{2} = 0$ の解は $-1 \pm \frac{\sqrt{6}}{2}$ なので,

$$\left(t + 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}\right) \left(t + 1 - \frac{\sqrt{6}}{2}\right) < 0 .$$

t	...	$-1 - \frac{\sqrt{6}}{2}$...	$-1 + \frac{\sqrt{6}}{2}$...
$t + 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}$	-	0	+	+	+
$t + 1 - \frac{\sqrt{6}}{2}$	-	-	-	0	+
$\left(t + 1 + \frac{\sqrt{6}}{2}\right) \left(t + 1 - \frac{\sqrt{6}}{2}\right)$	+	0	-	0	+

与えられた不等式を解くと, $-1 - \frac{\sqrt{6}}{2} < t < -1 + \frac{\sqrt{6}}{2}$.

終

次に 2 次不等式の左辺の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ について $b^2 - 4ac = 0$ のときを扱う. このとき, 定理 4.4 により, 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ には実数の重解 α があり, 4.5 節の 2 次式の因数分解の公式により, 2 次式 $ax^2 + bx + c$ は $a(x - \alpha)^2$ の形に因数分解できる.

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 6x + 9 \geq 0, \quad x^2 - 6x + 9 < 0, \quad x^2 - 6x + 9 > 0, \quad x^2 - 6x + 9 \leq 0.$$

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 6x + 9 \geq 0, \quad x^2 - 6x + 9 < 0, \quad x^2 - 6x + 9 > 0, \quad x^2 - 6x + 9 \leq 0.$$

左辺の 2 次式 $x^2 - 6x + 9$ を因数分解すると

$$x^2 - 6x + 9 = (x - 3)^2.$$

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$x^2 - 6x + 9 \geq 0, \quad x^2 - 6x + 9 < 0, \quad x^2 - 6x + 9 > 0, \quad x^2 - 6x + 9 \leq 0.$$

左辺の 2 次式 $x^2 - 6x + 9$ を因数分解すると

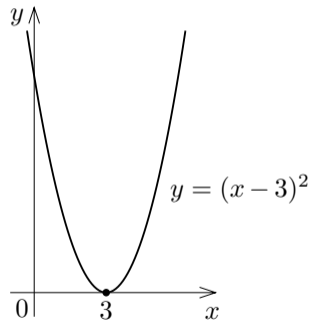
$$x^2 - 6x + 9 = (x - 3)^2.$$

x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x - 3)^2 \geq 0, \quad (x - 3)^2 < 0, \quad (x - 3)^2 > 0, \quad (x - 3)^2 \leq 0.$$

x に関する以下の2次不等式を解けばよい：

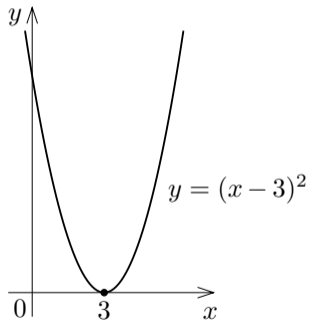
$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$



x に関する以下の2次不等式を解けばよい：

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

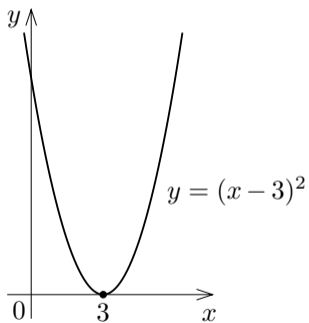
x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、総ての実数が不等式 $(x-3)^2 \geq 0$ の解ある。



x に関する以下の2次不等式を解けばよい：

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、総ての実数が不等式 $(x-3)^2 \geq 0$ の解ある。 x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、 $(x-3)^2 < 0$ である実数 x は無い；つまり、不等式 $(x-3)^2 < 0$ の解は無い。



x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

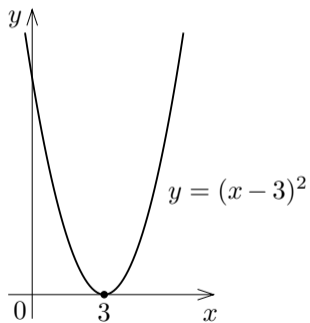
$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、総ての実数が不等式 $(x-3)^2 \geq 0$ の解ある。 x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、 $(x-3)^2 < 0$ である実数 x は無い；つまり、不等式 $(x-3)^2 < 0$ の解は無い。

$$(x-3)^2 \leq 0 \iff x-3=0 \iff x=3.$$

[定理 2.5.11] 任意の実数 a について

$$a^2 \leq 0 \iff a=0.$$



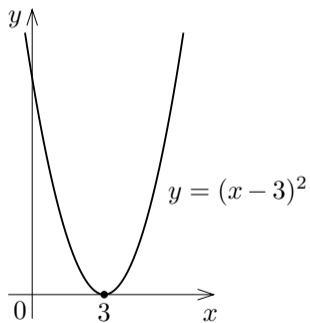
x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、総ての実数が不等式 $(x-3)^2 \geq 0$ の解ある。 x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、 $(x-3)^2 < 0$ である実数 x は無い；つまり、不等式 $(x-3)^2 < 0$ の解は無い。

$$(x-3)^2 \leq 0 \iff x-3=0 \iff x=3.$$

不等式 $(x-3)^2 \leq 0$ を解くと $x=3$.



x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、総ての実数が不等式 $(x-3)^2 \geq 0$ の解ある。 x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、 $(x-3)^2 < 0$ である実数 x は無い；つまり、不等式 $(x-3)^2 < 0$ の解は無い。

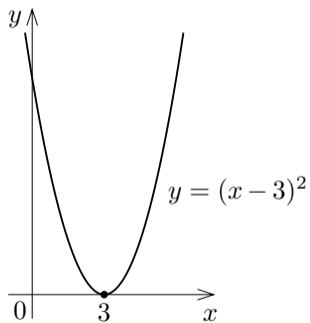
$$(x-3)^2 \leq 0 \iff x-3=0 \iff x=3.$$

不等式 $(x-3)^2 \leq 0$ を解くと $x=3$.

$$(x-3)^2 > 0 \iff x-3 \neq 0 \iff x \neq 3.$$

[定理 2.5.12] 任意の実数 a について

$$a^2 > 0 \iff a \neq 0.$$



x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x-3)^2 \geq 0, \quad (x-3)^2 < 0, \quad (x-3)^2 > 0, \quad (x-3)^2 \leq 0.$$

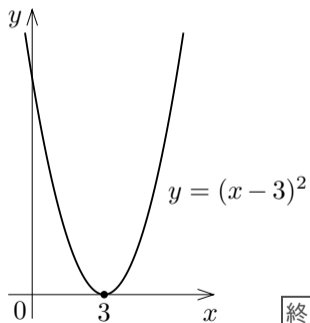
x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、総ての実数が不等式 $(x-3)^2 \geq 0$ の解ある。 x がどんな実数でも $(x-3)^2 \geq 0$ なので、 $(x-3)^2 < 0$ である実数 x は無い；つまり、不等式 $(x-3)^2 < 0$ の解は無い。

$$(x-3)^2 \leq 0 \iff x-3=0 \iff x=3.$$

不等式 $(x-3)^2 \leq 0$ を解くと $x=3$.

$$(x-3)^2 > 0 \iff x-3 \neq 0 \iff x \neq 3.$$

不等式 $(x-3)^2 > 0$ を解くと $x \neq 3$.



終

例 変数 a に関する不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ を解く.

例 変数 a に関する不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ を解く. 不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

2次方程式 $-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} = 0$ の判別式の値が 0 なので, 2次式を因数分解するタイプである.

例 変数 a に関する不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ を解く. 不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

両辺に -3 を掛けて

$$a^2 - 3a + \frac{9}{4} \leq 0 .$$

例 変数 a に関する不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ を解く. 不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

両辺に -3 を掛けて

$$a^2 - 3a + \frac{9}{4} \leq 0 .$$

この不等式の左辺は $a^2 - 3a + \frac{9}{4} = \left(a - \frac{3}{2}\right)^2$ なので,

$$\left(a - \frac{3}{2}\right)^2 \leq 0 .$$

例 変数 a に関する不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ を解く. 不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0 .$$

両辺に -3 を掛けて

$$a^2 - 3a + \frac{9}{4} \leq 0 .$$

この不等式の左辺は $a^2 - 3a + \frac{9}{4} = \left(a - \frac{3}{2}\right)^2$ なので,

$$\left(a - \frac{3}{2}\right)^2 \leq 0 .$$

よって $a - \frac{3}{2} = 0$ なので $a = \frac{3}{2}$.

例 変数 a に関する不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ を解く. 不等式 $a - \frac{a^2}{3} \geq \frac{3}{4}$ より

$$-\frac{a^2}{3} + a - \frac{3}{4} \geq 0.$$

両辺に -3 を掛けて

$$a^2 - 3a + \frac{9}{4} \leq 0.$$

この不等式の左辺は $a^2 - 3a + \frac{9}{4} = \left(a - \frac{3}{2}\right)^2$ なので,

$$\left(a - \frac{3}{2}\right)^2 \leq 0.$$

よって $a - \frac{3}{2} = 0$ なので $a = \frac{3}{2}$. 故に, 与えられた不等式を解くと $a = \frac{3}{2}$.

終

問6.8.5 変数 k に関する不等式 $-3k^2 - 2k \geq \frac{1}{3}$ を解け.

不等式 $-3k^2 - 2k \geq \frac{1}{3}$ より,

問6.8.6 変数 k に関する不等式 $-3k^2 - 2k \geq \frac{1}{3}$ を解け.

不等式 $-3k^2 - 2k \geq \frac{1}{3}$ より,

$$k^2 + \frac{2}{3}k + \frac{1}{9} \leq 0 ,$$

$$\left(k + \frac{1}{3}\right)^2 \leq 0 ,$$

$$k + \frac{1}{3} = 0 ,$$

$$k = -\frac{1}{3} .$$

終

例 変数 t に関する不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ を解く.

例 変数 t に関する不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ を解く. 不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

2 次方程式 $-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} = 0$ の判別式の値が 0 なので, 2 次式を因数分解するタイプである.

例 変数 t に関する不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ を解く. 不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

両辺に $-\frac{2}{3}$ を掛けて

$$t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} > 0 .$$

例 変数 t に関する不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ を解く. 不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

両辺に $-\frac{2}{3}$ を掛けて

$$t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} > 0 .$$

この不等式の左辺は $t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} = \left(t - \frac{2}{3}\right)^2$ なので,

$$\left(t - \frac{2}{3}\right)^2 > 0 .$$

例 変数 t に関する不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ を解く. 不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

両辺に $-\frac{2}{3}$ を掛けて

$$t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} > 0 .$$

この不等式の左辺は $t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} = \left(t - \frac{2}{3}\right)^2$ なので,

$$\left(t - \frac{2}{3}\right)^2 > 0 .$$

よって $t - \frac{2}{3} \neq 0$ なので $t \neq \frac{2}{3}$.

例 変数 t に関する不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ を解く. 不等式 $2t - \frac{3}{2}t^2 < \frac{2}{3}$ より

$$-\frac{3}{2}t^2 + 2t - \frac{2}{3} < 0 .$$

両辺に $-\frac{2}{3}$ を掛けて

$$t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} > 0 .$$

この不等式の左辺は $t^2 - \frac{4}{3}t + \frac{4}{9} = \left(t - \frac{2}{3}\right)^2$ なので,

$$\left(t - \frac{2}{3}\right)^2 > 0 .$$

よって $t - \frac{2}{3} \neq 0$ なので $t \neq \frac{2}{3}$. 故に, 与えられた不等式を解くと $t \neq \frac{2}{3}$.

終

問6.8.7 変数 y に関する不等式 $y - \frac{3}{5}y^2 < \frac{5}{12}$ を解け.

不等式 $y - \frac{3}{5}y^2 < \frac{5}{12}$ より,

問6.8.7 変数 y に関する不等式 $y - \frac{3}{5}y^2 < \frac{5}{12}$ を解け.

不等式 $y - \frac{3}{5}y^2 < \frac{5}{12}$ より,

$$-\frac{3}{5}y^2 + y - \frac{5}{12} < 0 .$$

$$y^2 - \frac{5}{3}y + \frac{25}{36} > 0 ,$$

$$\left(y - \frac{5}{6}\right)^2 > 0 ,$$

$$y - \frac{5}{6} \neq 0 ,$$

$$y \neq \frac{5}{6} .$$

終

最後に 2 次不等式の左辺の 2 次式 $ax^2 + bx + c$ について $b^2 - 4ac < 0$ のときを扱う.

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$2x^2 - 8x + 9 < 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \leq 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 > 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \geq 0.$$

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$2x^2 - 8x + 9 < 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \leq 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 > 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \geq 0.$$

左辺の 2 次式の x^2 の係数を 1 にするために両辺を 2 で割る：

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} < 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \leq 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} > 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \geq 0.$$

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$2x^2 - 8x + 9 < 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \leq 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 > 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \geq 0.$$

左辺の 2 次式の x^2 の係数を 1 にするために両辺を 2 で割る：

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} < 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \leq 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} > 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \geq 0.$$

左辺の 2 次式 $x^2 - 4x + \frac{9}{2}$ を平方完成する：

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} = x^2 - 4x + 4 - 4 + \frac{9}{2} = (x - 2)^2 + \frac{1}{2}.$$

例 変数 x に関する以下の 2 次不等式を解く：

$$2x^2 - 8x + 9 < 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \leq 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 > 0, \quad 2x^2 - 8x + 9 \geq 0.$$

左辺の 2 次式の x^2 の係数を 1 にするために両辺を 2 で割る：

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} < 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \leq 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} > 0, \quad x^2 - 4x + \frac{9}{2} \geq 0.$$

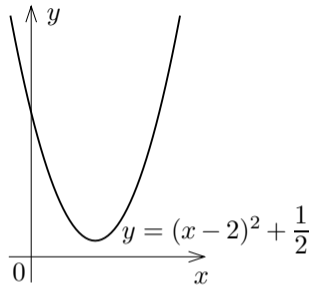
左辺の 2 次式 $x^2 - 4x + \frac{9}{2}$ を平方完成する：

$$x^2 - 4x + \frac{9}{2} = x^2 - 4x + 4 - 4 + \frac{9}{2} = (x - 2)^2 + \frac{1}{2}.$$

x に関する以下の 2 次不等式を解けばよい：

$$(x - 2)^2 + \frac{1}{2} < 0, \quad (x - 2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0, \quad (x - 2)^2 + \frac{1}{2} > 0, \quad (x - 2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0.$$

2次不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$,
 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ を解けばよい.

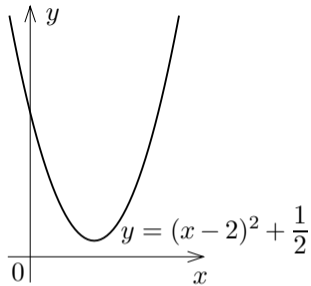


2次不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ を解けばよい.

任意の実数 x について, $(x-2)^2 \geq 0$ なので,

$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$



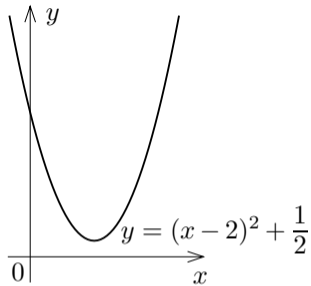
2次不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ を解けばよい.

任意の実数 x について, $(x-2)^2 \geq 0$ なので,

$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$

よって総ての実数が不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$ の解である.



2次不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ を解けばよい.

任意の実数 x について, $(x-2)^2 \geq 0$ なので,

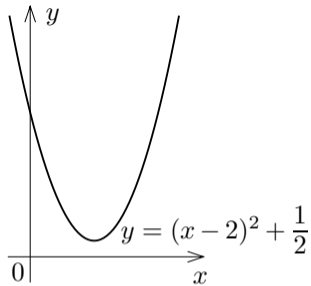
$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$

よって総ての実数が不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$ の解

である. 任意の実数 x について, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$

なので $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$; よって総ての実数が不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ の解

である.



2次不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ を解けばよい.

任意の実数 x について, $(x-2)^2 \geq 0$ なので,

$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$

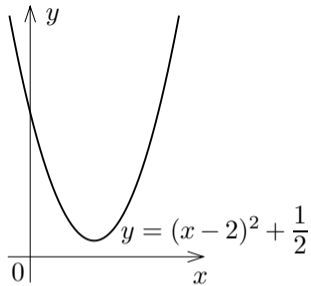
よって総ての実数が不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$ の解

である. 任意の実数 x について, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$

なので $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$; よって総ての実数が不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ の解

である. 任意の実数 x について $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$ なので, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$

である実数 x は無い; つまり不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$ の解無い.



2次不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$,

$(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ を解けばよい.

任意の実数 x について, $(x-2)^2 \geq 0$ なので,

$$(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq \frac{1}{2} > 0 .$$

よって総ての実数が不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$ の解

である. 任意の実数 x について, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$

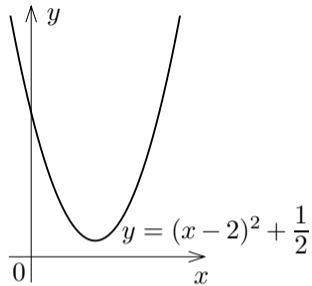
なので $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$; よって総ての実数が不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ の解

である. 任意の実数 x について $(x-2)^2 + \frac{1}{2} > 0$ なので, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$

である実数 x は無い; つまり不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \leq 0$ の解無い. 任意の実数

x について $(x-2)^2 + \frac{1}{2} \geq 0$ なので, $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$ である実数 x は無い;

つまり不等式 $(x-2)^2 + \frac{1}{2} < 0$ の解は無い.



例 変数 u に関する不等式 $2u^2 > 6u - 5$ を解く.

例 変数 u に関する不等式 $2u^2 > 6u - 5$ を解く. 不等式 $2u^2 > 6u - 5$ より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

2次方程式 $2u^2 - 6u + 5 = 0$ の判別式の値が負なので, 2次式を平方完成するタイプである.

例 変数 u に関する不等式 $2u^2 > 6u - 5$ を解く. 不等式 $2u^2 > 6u - 5$ より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

例 変数 u に関する不等式 $2u^2 > 6u - 5$ を解く. 不等式 $2u^2 > 6u - 5$ より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} = u^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}u + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + \frac{5}{2} = \left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} ,$$

例 変数 u に関する不等式 $2u^2 > 6u - 5$ を解く. 不等式 $2u^2 > 6u - 5$ より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} = u^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}u + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + \frac{5}{2} = \left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} ,$$

よって

$$\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} > 0 .$$

例 変数 u に関する不等式 $2u^2 > 6u - 5$ を解く. 不等式 $2u^2 > 6u - 5$ より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} = u^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}u + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + \frac{5}{2} = \left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} ,$$

よって

$$\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} > 0 .$$

任意の実数 u について $\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} \geq \frac{1}{4} > 0$.

例 変数 u に関する不等式 $2u^2 > 6u - 5$ を解く. 不等式 $2u^2 > 6u - 5$ より,

$$2u^2 - 6u + 5 > 0 ,$$

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} > 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$u^2 - 3u + \frac{5}{2} = u^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}u + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + \frac{5}{2} = \left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} ,$$

よって

$$\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} > 0 .$$

任意の実数 u について $\left(u - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} \geq \frac{1}{4} > 0$. 故に総ての実数が与えられた不等式の解である. **終**

例 変数 t に関する不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ を解く.

例 変数 t に関する不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ を解く. 不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

2次方程式 $3t^2 + 5t + 4 = 0$ の判別式の値が負なので, 2次式を平方完成するタイプである.

例 変数 t に関する不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ を解く. 不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

例 変数 t に関する不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ を解く. 不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} ,$$

例 変数 t に関する不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ を解く. 不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} ,$$

よって

$$\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0 .$$

例 変数 t に関する不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ を解く. 不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0 ,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0 .$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} ,$$

よって

$$\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0 .$$

任意の実数 t について $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \geq \frac{23}{36} > 0 .$

例 変数 t に関する不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ を解く. 不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0.$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36},$$

よって

$$\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0.$$

任意の実数 t について $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \geq \frac{23}{36} > 0$. よって $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0$ である実数 t は無い.

例 変数 t に関する不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ を解く. 不等式 $3t^2 \leq -5t - 4$ より,

$$3t^2 + 5t + 4 \leq 0,$$

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} \leq 0.$$

左辺の 2 次式を平方完成すると

$$t^2 + \frac{5}{3}t + \frac{4}{3} = t^2 + 2 \cdot \frac{5}{6}t + \left(\frac{5}{6}\right)^2 - \frac{25}{36} + \frac{4}{3} = \left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36},$$

よって

$$\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0.$$

任意の実数 t について $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \geq \frac{23}{36} > 0$. よって $\left(t + \frac{5}{6}\right)^2 + \frac{23}{36} \leq 0$ である実数 t は無い. 故に与えられた不等式の解は無い. **終**

問6.8.8 変数 x に関する不等式 $\frac{2x^2+1}{5} > \frac{x}{2}$ を解け.

不等式 $\frac{2x^2+1}{5} > \frac{x}{2}$ より,

$$\frac{2x^2+1}{5} - \frac{x}{2} > 0.$$

この不等式の左辺は

$$\frac{2x^2+1}{5} - \frac{x}{2} = \frac{4x^2+2-5x}{10} = \frac{(x-\frac{5}{4})^2 - \frac{9}{16}}{10}.$$

よって

$$\frac{(x-\frac{5}{4})^2 - \frac{9}{16}}{10} > 0.$$

任意の実数 x について, $\frac{(x-\frac{5}{4})^2 - \frac{9}{16}}{10} > 0$. 故に

問6.8.8 変数 x に関する不等式 $\frac{2x^2+1}{5} > \frac{x}{2}$ を解け.

不等式 $\frac{2x^2+1}{5} > \frac{x}{2}$ より,

$$2x^2 + 1 > \frac{5}{2}x ,$$

$$x^2 - \frac{5}{4}x + \frac{1}{2} > 0 .$$

この不等式の左辺は

$$x^2 - \frac{5}{4}x + \frac{1}{2} = x^2 - 2 \cdot \frac{5}{8} + \left(\frac{5}{8}\right)^2 - \frac{25}{64} + \frac{1}{2} = \left(x - \frac{5}{8}\right)^2 + \frac{7}{64} .$$

よって

$$\left(x - \frac{5}{8}\right)^2 + \frac{7}{64} > 0 .$$

任意の実数 x について, $\left(x - \frac{5}{8}\right)^2 + \frac{7}{64} > 0$. 故に総ての実数が与えられた不等式の解である.

終

問6.8.9 変数 x に関する不等式 $2(x+1)^2 \leq x$ を解け.

不等式 $2(x+1)^2 \leq x$ より,

$$x^2 \leq \dots$$

この不等式の左辺は

$$x^2 = x^2 = (x \quad)^2,$$

よって

$$(x \quad)^2 \geq 0.$$

任意の実数 x について $(x \quad)^2 \geq 0$, よって $(x \quad)^2$
故に

問6.8.9 変数 x に関する不等式 $2(x+1)^2 \leq x$ を解け.

不等式 $2(x+1)^2 \leq x$ より,

$$2x^2 + 4x + 2 \leq x ,$$

$$x^2 + \frac{3}{2}x + 1 \leq 0 .$$

この不等式の左辺は

$$x^2 + \frac{3}{2}x + 1 = x^2 + 2 \cdot \frac{3}{4}x + \left(\frac{3}{4}\right)^2 - \frac{9}{16} + 1 = \left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{16} ,$$

よって

$$\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{16} \leq 0 .$$

任意の実数 x について $\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{16} > 0$, よって $\left(x + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{7}{16} \leq 0$ である実数 x は無い. 故に与えられた不等式の解は無い. □

定数 a, b, c は実数で $a > 0$ とする. 変数 x に関する 2 次不等式

$$ax^2 + bx + c < 0, \quad ax^2 + bx + c \leq 0, \quad ax^2 + bx + c > 0, \quad ax^2 + bx + c \geq 0$$

の解法をまとめる.

$b^2 - 4ac > 0$ とする. 定理 4.4 により 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ には異なる 2 個の実数解 α, β とがある. 4.5 節の 2 次式の因数分解の公式により

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)(x - \beta) .$$

この因数分解された 2 次式 $a(x - \alpha)(x - \beta)$ の値の符号を調べる. $\alpha < \beta$ とする. $a > 0$ とした.

x の値	$x < \alpha$	$x = \alpha$	$\alpha < x < \beta$	$x = \beta$	$\beta < x$
$x - \alpha$ の値の符号	-	0	+	+	+
$x - \beta$ の値の符号	-	-	-	0	+
$a(x - \alpha)(x - \beta)$ の値の符号	+	0	-	0	+

この表から次のことが分かる: 実数 a, α, β について, $a > 0$, $\alpha < \beta$ のとき,

x に関する不等式 $a(x - \alpha)(x - \beta) < 0$ を解くと $\alpha < x < \beta$,

x に関する不等式 $a(x - \alpha)(x - \beta) \leq 0$ を解くと $\alpha \leq x \leq \beta$,

x に関する不等式 $a(x - \alpha)(x - \beta) > 0$ を解くと $x < \alpha$ または $x > \beta$,

x に関する不等式 $a(x - \alpha)(x - \beta) \geq 0$ を解くと $x \leq \alpha$ または $x \geq \beta$.

$b^2 - 4ac = 0$ とする. 定理 4.4 により x に関する 2 次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ の解 α は実数の重解である. 4.5 節の 2 次式の因数分解の公式により

$$ax^2 + bx + c = a(x - \alpha)^2 .$$

$a > 0$ なので, 総ての実数 x について $a(x - \alpha)^2 \geq 0$; 従って更に, $a(x - \alpha)^2 < 0$ である実数 x は無い. よって,

総ての実数が x に関する不等式 $a(x - \alpha)^2 \geq 0$ の解である ;

x に関する不等式 $a(x - \alpha)^2 < 0$ の解は無い.

また, $a > 0$ なので,

$$a(x - \alpha)^2 \leq 0 \iff (x - \alpha)^2 \leq 0 \iff x - \alpha = 0 \iff x = \alpha ,$$

$$a(x - \alpha)^2 > 0 \iff (x - \alpha)^2 > 0 \iff x - \alpha \neq 0 \iff x \neq \alpha ;$$

故に,

x に関する不等式 $a(x - \alpha)^2 \leq 0$ を解くと $x = \alpha$,

x に関する不等式 $a(x - \alpha)^2 > 0$ を解くと $x \neq \alpha$.

$b^2 - 4ac < 0$ とする. 加えて $a > 0$ とする. 定理 6.2 により,

任意の実数 x について $ax^2 + bx + c > 0$,

任意の実数 x について $ax^2 + bx + c \geq 0$;

従ってまた,

$ax^2 + bx + c \leq 0$ となる実数 x は無い,

$ax^2 + bx + c < 0$ となる実数 x は無い.

故に,

総ての実数が x に関する不等式 $ax^2 + bx + c > 0$ の解である ;

総ての実数が x に関する不等式 $ax^2 + bx + c \geq 0$ の解である ;

x に関する不等式 $ax^2 + bx + c \leq 0$ の解は無い ;

x に関する不等式 $ax^2 + bx + c < 0$ の解は無い.